

中学校第1学年 学級活動（2）学習指導案

1. 題材 「夜須アドベンチャーウォークで自分のよさを知ろう」 2ーア

<p>○学習指導要領 特別活動（学級活動） 第1学年の内容とのかかわり</p> <p>（2） 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全</p> <p>ア 自他の個性の理解と尊重、よりよい人間関係の育成</p> <p>自他の個性を理解して尊重し、互いのよさや可能性を發揮しながらよりよい集団生活をつくること。</p>
--

2. 活動の目標・評価規準

○日常とは異なる環境で、自己表現やコミュニケーション能力を高める体験的な活動を通して、よりよい人間関係を形成していくために、自己の個性を見つめ、他者の個性を理解し、互いに尊重し合う態度を育てる。

育成する資質・能力	目標	評価規準
知識及び技能	○日常生活や学習への適応と自己の成長といった、自己の生活上の課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、適切な意思決定を行い実践し続けていくために、必要な知識や行動の仕方を身に付けるようにする。	・他者との関わりの中で自己を見つめ、自己の生活上の課題に気づき、改善していくための知識や行動の仕方を身に付けている。
思考力、判断力、表現力等	○自己の生活や学習への適応及び自己の成長に関する課題を見だし、多様な意見をもとに自ら意思決定をすることができるようにする。	・日常とは異なる環境で、自己の成長に関する課題を見だし、話し合い活動を通して、自ら意思決定をし、自己表現したり、意思決定したことを実践したりしている。
学びに向かう力、人間性等	○他者への尊重と思いやりを深めて、よりよい人間関係を形成しようとしたり、他者と協働して自己の生活上の課題の解決に向けて、悩みや葛藤を乗り越えながら取り組んだりしようとする態度を養う。	・自他の個性を理解して尊重し、互いのよさや可能性を發揮しながらよりよい集団生活をつくり、自己実現を図ろうとしている。

3. 題材構想

(1) 集団宿泊活動として学習することのよさ

中学校1年生の時期は、学級活動の時間において、集団活動や仲間づくり活動を通して、自己を知り、他者理解を深めると共に、学校生活における個々の課題を見いだすことが重要であると考えられる。

通常、集団宿泊学習の準備では、その意義の理解と班編制や係分担等の話し合いが行われるが、その中で、当施設の夜須アドベンチャーウォークという自然体験活動において、様々な課題や困難の解決に取り組むことを知らせ、自分のよさや個性について考え、活動中での自分のめあてを考える時間を設定する。その後、集団宿泊時にグループで課題解決に取り組み、自分のめあてについて体感したこともとに振り返りを行うことで、自他の個性の理解やよりよい人間関係の育成というねらいに迫るものである。

また、日常とは異なる環境で自然体験活動プログラムを通してグループ活動を行うことにより、自他のよさや個性にさらに気付きやすくなり、振り返りの場面ではより多くの意見や感想が出やすくなることが考えられる。

これらのことから、集団宿泊学習において、本時の夜須アドベンチャーウォークに取り組み、即時的に振り返りを行う取組は、振り返りを次の課題解決に生かすことにつながり、より高い学習効果が期待されると思われる。

(2) 活動計画（学習過程と活動内容等）

学習過程	活動内容	時数	活動の場
課題の把握	・よりよい人間関係を形成するためにどんなことが大切かを考えさせ、夜須アドベンチャーウォークでの自分のめあてを決定する。	1	学校
課題の探究	・夜須アドベンチャーウォークに取り組み、仲間とともに様々な課題や困難の解決に取り組む。(学校行事2時間取り扱い)	学校行事2	施設
課題の検証	・夜須アドベンチャーウォークの振り返りを行い、自他の長所や個性について気付き、認め合う。 ・振り返りにおける成果と課題から、自己のよさを生かして、これからの学級生活で取り組むことについて話し合う。 ・話し合ったことを参考にして、自己の行動目標や実践方法を意思決定する。(学級活動1時間取り扱い)	学級活動(2) 1	施設

(3) 「主体的・対話的で深い学び」の視点

1) 主体的な学び

① 目指す子供の姿

夜須アドベンチャーウォークにおいて、班の仲間と協力して様々な課題を解決したり、困難を乗り越えたりしていくために、自分の個性をどう生かしていくか、自分に何ができるかを考える。

② 指導のポイント

事前学習を行い、日常生活での自分と他者のかかわり方を振り返るとともに、夜須アドベンチャーウォークでの自分のめあてを決め、ワークシートに記入することで、意欲をもって活動に取り組むことができるようにする。

2) 対話的な学び

① 目指す子供の姿

夜須アドベンチャーウォークのチェックポイントで、課題を解決するためにグループ内で話し合い、解決策を決定し、協力して実践していく。

振り返りの場面で、友達のよさや個性について話し合い、認め合う。

② 指導のポイント

ワークシートを使って、自分のめあてが達成できたかを振り返る時間を設定する。また、友達のよさや個性について気付いたことをワークシートに記入し、伝え合う場面を設定する。

3) 深い学び

① 目指す子供の姿

実際の活動を真剣に振り返り、自分のよさや個性に気付き、今後の学校生活や自分の生き方について、新たな課題を見いだそうとしている。

② 指導のポイント

振り返りの場面で、自他のよさや個性などを互いに伝え合うようにする。自分のよさ、友達から認められたことを踏まえて、今後の学校生活で生かしていきたいこと、そして、これから実践していきたいことなど、具体的な取組をワークシートに記入するよう助言する。また、書いたことはグループ内で発表し合い、お互いに認め合う雰囲気をつくるとともに必要に応じてアドバイスし合うようにする。

4. 青少年教育施設での展開【学級活動（2）50分（時数1時間）】

(1) ねらい

日常とは異なる環境で、自己の成長に関する課題を見だし、話し合いを通して、解決方法について自ら意思決定をし、自己表現したり、実践したりすることができるようにする。

(2) 展開例

活動	具体的な活動内容	指導上の留意点	時間
課題の把握 (事前学習・学校)	○集団宿泊学習の中で取り組む夜須アドベンチャーウォークについて知る。	○夜須アドベンチャーウォークを行う目的を知らせ、意義につ	50分

	<p>○自分らしさ（個性）や、よりよい人間関係を形成するためにどんなことが大切なのかを考えさせ、夜須アドベンチャーウォークでの自分のめあてをワークシートに記入する。</p>	<p>いても理解することができるようにする。</p> <p>○事前学習では、日常生活での自分と他者のかかわり方を振り返らせ、夜須アドベンチャーウォークでの自分のめあてをワークシートに記入することで、目的意識を高める。</p>	
<p>課題の探求 （学校行事扱い・施設）</p>	<p>○夜須アドベンチャーウォークを実施するためのオリエンテーションを受ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・めあて、内容、ルールについて ・注意事項、安全面について <p>○グループごとに夜須アドベンチャーウォークに取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜須アドベンチャーウォークのチェックポイントごとに、課題を解決するためにグループ内で話し合い、解決策を決定し、実践していく。 ・活動ポイントごとに簡単な振り返りを行う。 	<p>○目的やめあての確認や安全面についての指導を行う。</p> <p style="text-align: center;">【施設職員】</p> <p>○1グループ6人～8人で実施することが望ましい。</p> <p>○コース内の数カ所に教員を配置し、生徒達の活動をサポートできるようにする。</p> <p>○職員と教員は無線機等で連絡を行い、活動の進行状況等について把握する。</p>	120分
<p>課題の検証 （学級活動・施設）</p>	<p>○夜須アドベンチャーウォーク終了後、各グループごとに振り返りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のめあての達成度、自分のよさ、友達のよさ、今後学校生活で実践していきたいこと等をワークシートに記入する。 ・各グループごとに、ワークシートに記入したことを伝え合うとともに、お互いを認め合う。 ・各グループの代表が発表できるようにまとめる。 <p>○全体で振り返りを行う。</p>	<p>○活動中の仲間の行動や言葉かけ等がどうであったかを思い出させる。</p> <p>○各グループの振り返り中に、教員から見た活動中の良かった点等も伝えるなどして、お互いが認め合えるような雰囲気づくりを行う。</p>	50分

(3) 評価規準

- ・ 自己の成長に関する課題を見だし、解決方法について話し合い、話し合ったことを基に、自ら意思決定をしたり、自己表現したりしている。(思考・判断・表現)